

## 公共建築工事標準仕様書 / 公共建築工事改修標準仕様書 対応

## クリヤラッカー塗り (CL)

## 1. 適用範囲

工事名：  
 工事場所：  
 施工業者：  
 塗装業者：  
 特約店名：

## 2. 材料

SW ニューPGA ワイピングベース F☆☆☆☆ O01013 SW ジャストリーカラー 各色 F☆☆☆☆ O01010  
 SW ウッドシーラー金剛 JIS K 5533 認証 SW ラッカー型サンディング金剛 JIS K 5533 認証  
 SW ラッカー型クリヤール金剛 JIS K 5531 認証 SW ラッカー型フラット金剛 F☆☆☆☆ O01319

## 3. 施工部位

内装木部

## 4. 工程

工程	種別		塗料その他		塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> )	乾燥時間 (23℃)
	A種	B種	規格番号	製品名		
素地ごしらえ	○(注)1		新設時：18.2.2による、改修時：7.2.2による		—	—
1 目止め着色 (注)2	○	—	SW ニューPGA ワイピングベース SW ジャストリーカラー 各色		適宜	1時間以上
2 ふき取り	○	—	全面白木綿布片でふき取る。		—	
3 下塗り	○	○	JIS K 5533	SW ウッドシーラー金剛	0.10	1時間以上
4 中塗り	○	○	JIS K 5533	SW ラッカー型サンディング金剛	0.10	1時間以上
5 研磨紙ざり	○	○	研磨紙 P220~240		—	—
6 上塗り (1回目)	○	○	JIS K 5531	SW ラッカー型クリヤール金剛	0.10	2時間以上
7 研磨紙ざり	○	—	研磨紙 P240~320		—	—
8 上塗り (2回目)	○	—	JIS K 5531	SW ラッカー型クリヤール金剛	0.10	—

- (注) 1. 18.2.2 木部の素地ごしらえ、7.2.2 木部の下地調整の種別は、塗料その他の欄による。  
 2. A種の場合、工程1の着色の適用及び着色に用いる塗料の種類は、特記による。  
 3. 改修時、新規に塗装を行う場合は、7.2.2 木部の下地調整に代えて、7.3.2 木部の素地ごしらえを行う。  
 \* SW はセーフティーワルツ(トルエン・キシレンフリー)の略称です。

## 5. 注記

- 本仕様は、公共建築工事標準仕様書(令和4年度版)及び公共建築工事標準仕様書(平成31年度版)に基づいた仕様です。
- 着色の適用は特記(特別記載)によります。着色が必要な場合のみ適用して下さい。  
使用塗料や希釈等の詳細は別途、弊社へ相談して下さい。
- 改修時、既存塗膜があり、目止め工程を適用する場合は表7.2.1 木部の下地調整のRA種(既存塗膜の全面除去)を適用して下さい。  
また、改修時、既存塗膜が他種塗料の場合も表7.2.1 木部の下地調整のRA種(既存塗膜の全面除去)を適用して下さい。
- 公共建築工事標準仕様書(令和4年度版)は目止め工程と着色工程が別枠です。弊社仕様では別枠を推奨しません。  
その為、公共建築工事標準仕様書(平成31年度版)を参考に作製しています。
- 上記塗布量は公共建築工事標準仕様書(令和4年度版)のクリヤラッカー塗り(CL)の塗付け量です。  
(シンナーによる希釈は考慮していません)
- SW ウッドシーラー金剛は原液でご使用下さい。SW ラッカー型サンディング金剛、SW ラッカー型クリヤール金剛、  
SW ラッカー型フラット金剛の希釈には、SW #500 ラッカーシンナーを使用して下さい。
- 乾燥・塗り重ね時間は、温度・湿度等の条件により異なります。5℃以下や多湿時の塗装は避けて下さい。
- 工程3と4の間隔が長くなる(24時間以上)場合は研磨工程を入れて下さい。
- 艶消しの場合は上塗りをSW ラッカー型フラット金剛 艶消しを使用して下さい。(艶消しはJIS規格対象外です)
- 製品詳細は、製品カタログやSDS等を参照して下さい。